

小学部合同 生活単元学習 学習指導案

日 時：平成 29 年 10 月 25 日（水）10：30～11：15

場 所：会議室、一階廊下

児 童：男子 3 人、女子 5 人、計 8 人

指導者：〇〇〇〇 T1、〇〇〇〇 T2、〇〇〇〇 T3
〇〇〇〇 T4

1 単元名 「つくろう、とどけよう、せんぼく四季のカレンダー！」

2 単元の目標

- (1) 友達や教師、地域の方と協力してカレンダー作りをする。
- (2) 地域の方とのやりとりを通して、進んで人と関わる経験を広げる。

3 児童と単元

(1) 児童について

本学習グループは 1 年生 3 名、2 年生 1 名、3 年生 1 名、4 年生 1 名、5 年生 1 名、6 年生 1 名の計 8 名のグループである。指示理解については、全体への指示を聞いて行動できる児童が 5 名、個別の言葉掛けが必要な児童が 3 名である。制作活動については、他校との交流会で使用する横断幕作り、看板作りなどを行った。使う道具や自分の写真、目印などの視覚的支援を手がかりとしながら、材料をちぎったり、指定された場所へ貼ったり、色鉛筆や絵の具を使って色を塗ったりなど、制作活動を楽しんでいる。

また、人との関わりについては、家族や友達、教師が日常的である。友達に対する関心が高く、名前を呼び合ったり、日常的に遊び道具などを貸し借りしたりしながら関わる児童がいる一方、発語がなく関わり方が消極的な児童や、一方的な関わりであったり、相手からの挨拶や話しかけに対して答えられない児童など、実態は様々である。

(2) 単元について

本単元は、「せんぼくいきいきプロジェクト」の活動の一つで、地域の四季を題材としたカレンダーを制作し、普段からお世話になっている地域の方々や近隣の学校へ、プレゼントすることを通して、人との関わりを広げることをねらいとした学習である。制作にあたっては人との関わりを幅を広げるために、地域の方々に協力を依頼し、一緒にカレンダー制作を行う。カレンダーは表紙を含め一部 5 枚で構成されており、今年度は約 85 部の制作を行う予定である。

カレンダー制作においては、同じ制作工程に繰り返し取り組むことで、制作の手順に見通しをもち、自信をもって取り組む姿が期待できる。地域の方に直接「ありがとう」「がんばったね」「上手にできたね」などと言ってもらえることで、意欲を高めたり、より大きな達成感を得たりすることができる。「カレンダーの作り方が分かる」「自分ではできる」という自信をベースにしながら学習を進めることで、友達や教師、地域の方々と積極的に関わりながら活動することができるのではないかと考える。また、カレンダー配付では、児童が直接地域の方々や近隣の学校に届けることで、より多くの人と関わることもできる。

以上のことから、自分のやるべき事が分かり、安心した状況の中で授業を展開することで、児童一人一人の表現方法での「人と関わる力」を高めることができるのではないかと考え本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・主体的に活動に取り組むことができるように、個々に応じた補助具を準備したり、授業の流れを児童同士で進めることができるような機会を設定したりする。
- ・児童同士や地域の人と進んで関わったり、自分から進んで活動に取り組んだりすることができるように、机や材料の配置、教材・教具の工夫、児童の動線などの学習環境に配慮する。

- ・様々な人と関わってカレンダー作りを経験できるように、担任以外の教師と一緒にカレンダーを作ったり、地域の方々の配置を工夫し、いつもと違う人と活動できるようにしたりする。
- ・一体感をもって意欲的にカレンダー作りができるように、腕章を身につけて活動したり、みんなテーマコールを発声したりする。
- ・必要枚数の見通しをもち、その日の頑張りが実感できるように、毎時間、完成枚数を全員で確認する。
- ・カレンダー作りに対しての意欲を高めることができるように、授業の始めと終わりに地域の方からお話をさせていただく場面を設ける。
- ・地域を知り、親しみを感じることができるよう、カレンダーのデザインに関して、仙北市への校外学習との関連を図りながら進める。

4 指導計画（総時数62時間）

小単元名	時数	主な学習活動
(1) カレンダープロジェクトについてみんなで考えよう (5月)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・制作場面や地域の方へ手渡ししている昨年度の映像を見ることで、カレンダーを作成しお世話になっている地域の方へ今年度もカレンダーをプレゼントすることを知る。 ・カレンダープロジェクトで必要なものについて話し合う。
(2) カレンダープロジェクトの準備をしよう (5月)	14	<ul style="list-style-type: none"> ・紙を切ったり、貼ったり、色を塗ったりしながら友達と一緒に横断幕を作る。 ・デザインを話し合い、腕章にシールや紙を貼って装飾をする。
(3) カレンダープロジェクトががんばろうの会 (5月)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーを友達や地域の方と協力しながら作ることを知る。 ・カレンダー作りを一緒に行ってくださる地域の方々を招き、おもてなしをする。 ・カレンダー作りに向けて意欲を高める。
(4) カレンダーをつくろう ・春、夏のカレンダー (6月～8月)	16	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーデザインについて、せんぼくの四季を感じたり、校外学習を振り返ったりしながら、友達や教師と一緒に話し合う。 ・地域の方や友達、教師と一緒にカレンダー作りをして、人への関心を広げ、関わりを楽しむ。
・秋、冬のカレンダー (9月～11月)	16 (本時6/ 16)	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー作りの方法や自分や友達、地域の方の役割が分かり、やりとりをしたり、相手に合わせたりしながらカレンダーを作成する。
(5) カレンダーをとどけよう (12月)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣いに気を付けながら、地域の方と関わる。 ・友達と役割分担をして、協力しながら地域の方にカレンダーを手渡しする。
(6) カレンダープロジェクトががんばったねの会 (12月)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオや写真を見て頑張ったことや、嬉しかったことを発表する。 ・友達同士でいままでの頑張りを認め合う。 ・協力いただいた地域の方々に感謝の気持ちを表す。

5 本時の計画（62時間中の42時）

(1) 本時の目標

- ・自分や友達、地域の方の役割が分かり、友達や地域の方と一緒に秋のカレンダー作りをする。

(2) 児童の目標と実態

氏名・年 (性別)	本時に関わる児童の実態	本時の目標	手立て
A 1年 (女) ぼんぼん G	・意欲的にカレンダー作りを行っているが、地域の方との関わりでは、恥ずかしがって言葉が出なかったり、声が小さかったりする。	・役割を理解して、制作活動に取り組む。 ・「どうぞ」と言って台紙を手渡すなど、地域の方とやりとりしながら活動する。	・活動の内容や一緒に活動する人、交換の仕方が分かるように、事前に確認する時間を設ける。
B 1年 (男) ぺたぺた G	・木の葉のシールを楽しみながら貼っている。また「交換しましょう」の合図で特定の相手にカレンダーを渡すことができる。	・決められた位置に、木の葉のシールを貼る。 ・「お願いします」と言って友達に台紙を渡す。	・シールを貼る位置がわかるように、目印を付ける。 ・台紙の渡し方をグループの友達と一緒に確認してから、活動を始める。
C 1年 (女) しゃかし やかG	・友達や地域の方との関わりやペットボトルを使っ ての染め紙作りを楽しんで いる。意に沿わないことが あると、声を荒げることが ある。	・ペットボトルを使った染め 紙作りを3回行う。 ・地域の方から両手で籠を 受け取ったり、渡したりす る。	・楽しみながら活動できるように「 シャカシャカ」と言葉を掛 ける。 ・事前に目線を合わせて「2つ の手で渡すよ」と言葉を掛 ける。
D 2年 (女) ぺたぺた G	・友達や地域の方との関わり を楽しみながら活動してい るが、台紙の渡し方など、 不適切な言葉遣いや態度を したりすることがある。	・「できました」「お願いし ます」と言って地域の方に 台紙を渡す。 ・決められた位置に、もみじ のシールを貼る。	・事前に台紙の渡し方や受け取 り方を個別に確認する。 ・シールを貼る位置がわかるよ うに、補助具を使いシールを 貼る。
E 3年 (男) ぼんぼん G	・役割を理解して取り組ん でおり、ステンシルブラ シの使い方にも少しずつ 慣れてきている。友達や 地域の方との関わりは消 極的である。	・適量の絵の具を付け、ステ ンシルブラシを縦に動か して色付けをする。 ・自分から友達に「交換しま しょう」と言葉を掛ける。	・事前に絵の具の付け方やステ ンシルブラシの使い方を確認 する時間を設定する。 ・自分から声をかけることが できるように、「そろそろどう かな」などと言葉を掛ける。
F 4年 (女) ぺたぺた G	・役割を理解して、取り組 んでいるが、地域の方 に対して過度の関わりを 求めたり、話を聞かずに 作業をしたりすることが ある。	・地域の方と一緒に手順に 沿って活動する。 ・「～さんお願いします」と 友達の名前を言って木の 葉のシールを渡す。	・手順のポイントとなる部分 の写真を見えやすい場所 に貼る。 ・「～さん」と名前を呼んで 渡すように事前に確認す る。
G 5年 (男) ぼんぼん G	・新しいメンバーとの色塗 り作業を意欲的に行って いる。ステンシルブラ シを横に動かしてしま うことが多い。 ・地域の方に親しみをも ち、笑顔やサインで積 極的に関わろうとする。	・自分の活動内容が分か り、ステンシルブラ シで色付けをする。 ・サインと言葉を掛けて 友達と紙を交換したり、 地域の方に出来た紙を 手渡したりする。	・ステンシルブラシの動かし 方が分かりやすいよう に一緒に手を動かしたり、 「ポンポンだよ」など と言葉を掛けたりする。 ・“交換”“できました” の簡単なサインを決 め、やりとりができる ようにする。
H 6年 (女) しゃかし やかG	・興味の無いことにはな かなか活動にのれず、 すぐに止めたり、立ち 歩いたりすることが多 い。	・ペットボトルを使っ た染め紙作りを2回 行う。 ・地域の方の顔を見 ながら染め紙のボ トルを受け取った り、渡したりする。	・楽しい気持ちで取 り組めるように、手 を添えて一緒にペ ットボトルを動か したり、「シャカシ ャカ」などと言 ったりする。 ・地域の方に顔 を見てもらったり、 手と手でタッチ をしたりする。

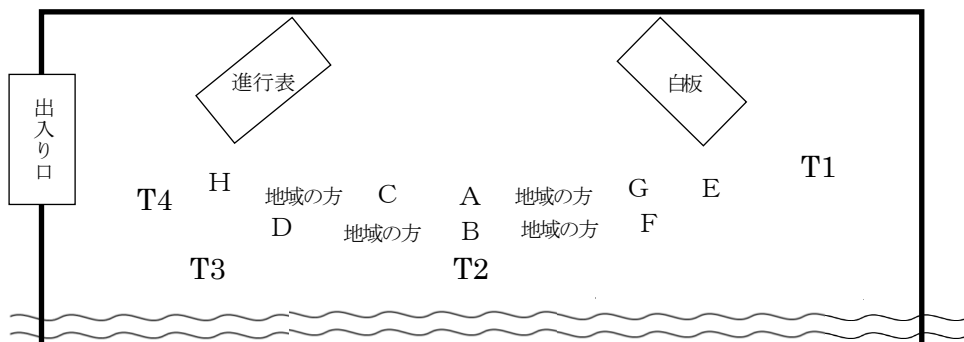
(3) 展開

時間	学 習 活 動	指導の手立て及び留意点
7分	1 はじまりの <i>かい</i> をする。 ①あいさつ ②テーマコール ③係分担 ④地域の方のお話 ⑤先生のお話	<ul style="list-style-type: none"> ・「腕章の準備はできたかな」と言葉を掛け、全員がそろい準備ができたなら挨拶をする。 ・児童たちで「はじまりの<i>かい</i>」ができるように、めくり式の進行表で進めるようにする。 ・本時に作成したカレンダーを地域のどの場所に配るのかを理解できるように、配付先の写真を使いながら説明する。 ・意欲的にカレンダー作りができるように、地域の方には「一緒にカレンダーを作ることを楽しみにしていた」という主旨の話しをしてもらう。 ・カレンダー作りが上手にできるポイントや約束を全員で確認してから制作活動をする。
30分	2 カレンダー作りをする。 ぼんぼんグループ (会議室) A、E、 G、地域の方 …色塗り しゃかしゃかグループ (会議室、一階廊下) C、H …色紙作り、地域の方 ぺたぺたグループ (会議室) B、D、地域の方…木の葉、もみじのシール貼り F、地域の方…木の葉の型抜き	<p>〈ぼんぼんグループ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や友達と関わりながら活動することができるように、ペアで紙を交換しながら活動する。 ・交換時のサインややりとりを確認してから活動する。(G) ・意欲的に取り組むことができるように、途中で友達が一生懸命に取り組む姿やきれいに色塗りされた作品を紹介していく。 ・きれいに色塗りができるように名人を紹介し、ステンシルブラシの使い方のポイントを伝える。(E、A) <p>〈しゃかしゃかグループ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染め紙を楽しむことができるように、教師もペットボトルを持ち、率先して楽しそうに活動する。 ・グループの友達を意識できるように、「〇〇さんはどうかな」「〇〇さんと一緒だよ」などと言言葉を掛けたり、適宜ペットボトルを交換したりする。 <p>〈ぺたぺたグループ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や地域の方の役割が理解できるように、活動前に写真を使って説明する。 ・相手を見て報告することができるように、立ち位置を示したマットを置く。(D) ・手順どおりにカレンダー作りをすることができるように、適宜、手順のポイントとなる部分や約束を確認する。(F) ・友達や地域の方と最後まで一緒に活動できるように、本児のペースに合わせてながら取り組むようにする。(B)
8分	3 おわりの <i>かい</i> をする。 ①あいさつ ②グループの発表 ③地域の方のお話 ④先生のお話 ⑤おわりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーの目標が達成できたかどうか分かるように、地域の方と一緒にできた数を数える。 ・活動への達成感を感じたり、友達を認め合ったりすることができるように、本時の良い点について、i P a dで画像を示しながら説明する。 ・次時への期待感をもって終わることができるように、次時の活動ではどこに配付するカレンダーを作成するのかを、写真を使って伝える。

(4) 配置図

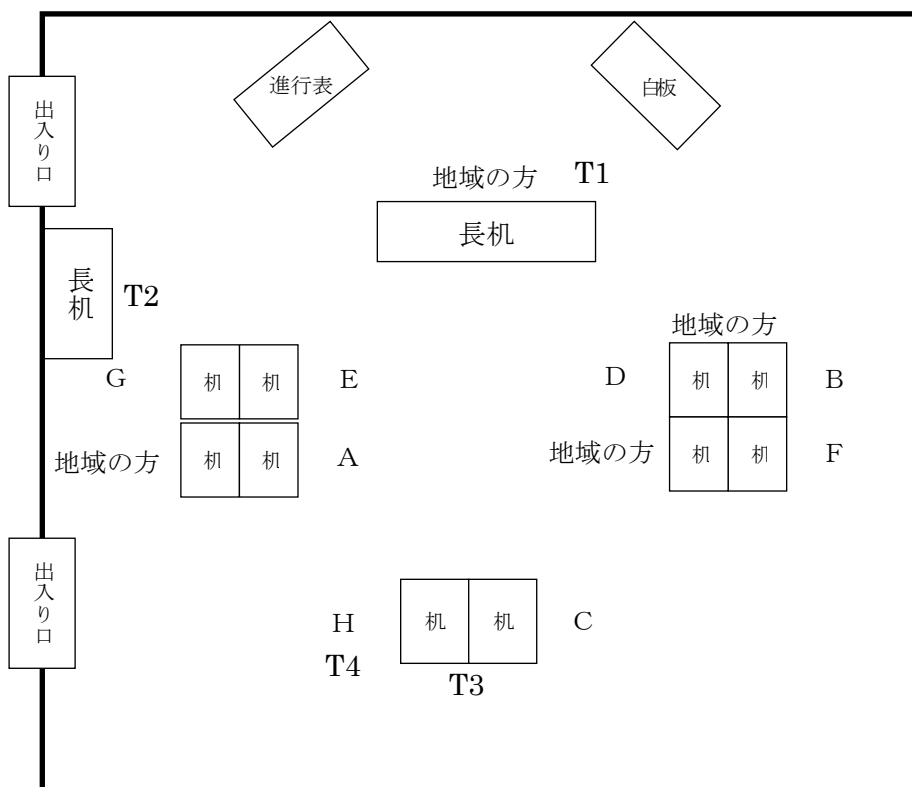
学習活動 1、3

会議室



学習活動 2

会議室



(5) 準備物

日めくり式カード、カレンダーの各パーツ、かご、パーテーション、各種補助具、絵の具、iPad、ペットボトル

(6) 評価の観点

- 児童・自分の役割を理解し、友達や教師、地域の方と一緒にカレンダー作りをすることができたか。
- 教師・児童が友達や教師、地域の方と一緒にカレンダー作りをするための、環境設定は適切だったか。